

第2回交流会 ~報告書編~

## 地域のピオトープ活動団体との交流 - 第1弾 -

~地域におけるピオトープ活動の現状から支援のあり方を考える~

2006.05.14

### 夢とロマンのまちづくり委員会 VS 日本ピオトープ管理士会徳島支部

## 交流会

**第2回交流会開催概要**  
**テーマ: [地域のピオトープ活動の現状把握と取組団体との交流 - 第1弾 - ]**  
**~地域におけるピオトープ活動の現状から支援のあり方を考える~**

目的: 地域のピオトープ活動の**実情**を知り、**支援のあり方**や団体との**連携のあり方**を考える。/ 地域のピオトープの**あるべき姿**を探る。/ 「めだかの里」の生きものを調べ、**身近な自然の知見**を深める。/ ピオトープづくりの**管理作業の体験**と**維持管理のあり方**を考える。

内容: 意見交換会 / 「めだかの里」生きもの調べ / 草刈等の管理作業体験

- 1. 交流団体の紹介**  
 名称: 夢とロマンのまちづくり委員会(会員数22名)  
 目的: 阿波町の景観自然を残すための会員相互の意見交換 / 多様な豊かな生態系を次世代に残す / 自然の中で憩い、体験しながら自然を学び、人と自然との共生社会を築くことにより「豊かな人づくり」の育成を行う  
 活動: めだかの里の管理作業 / 吉野川岩津のアドプトプログラム / 自然観察会 等
- 2. 日時:**平成18年5月14日 **日曜日** 10:00 ~ 12:00(終了時間は予定)
- 3. 場所:**めだかの里(阿波町伊沢田) 規模:約1200㎡ **内容:**人工の流れ池・林・広場
- 4. 参加者:**夢ロマン4名 / 管理士会8名 / 一般3名 / 幼児2名 / 計17名

2006.05.14 日本ピオトープ管理士会徳島支部 2

## 交流会風景

まずは自己紹介から 水源の確認 熱心に意見を交わす

流れの最上流...導水部 中流部の流れと広場 下流部の池

2006.05.14 日本ピオトープ管理士会徳島支部 3

## 交流会での意見交換-1/3

### 1. 整備の経緯と概要

**(1) 夢とロマンのまちづくり委員会の発祥**  
 ・元々は阿波町の**行政主導で始まった組織**で、福祉 / 観光 / 環境 / 経済 / 教育の5部門あったが、**現在残っているのは環境部会のみ**となった。  
 ・当初はアワーズ(理事長)も関係していた。

**(2) めだかの里整備について**  
 ・**目的は、子どもの遊び場**として整備。子どもの利用優先で**生き物のことは特に考えていない**。**新聞なんかでピオトープと言われたからピオトープとなっただけ**。  
 ・元々個人の土地を**アワーズが50年で借地契約**。駐車場だったが、そんなに広い**駐車場も必要ないので子どもの遊び場**として整備することになった。  
 ・「川で遊ぶ体験ができる」といいな、といった子どもの遊び場から出発。**なるべく自然の状態であったほうがいい**と思っている。将来はツリーハウスも作りたい。

**(3) 流れや池の水源と排水について**  
 ・**自然の湧き水**を引いている。農業用水としても利用している。(当日、湧き水が流れている水路の石の下にサワガニを発見。)  
 ・樹で集水し、パイプを引いて「めだかの里」に導水している。排水先は、敷地外縁部に整備されている**用排水路へ放流**。

2006.05.14 日本ピオトープ管理士会徳島支部 4

## 交流会での意見交換 2/3

### 2. 現状

**(1) 維持管理**  
 ・**年間に4回の草刈**。見苦しくなったら刈ることとし、**できるときに作業**をする程度。  
 ・**自然の多い阿波町にピオトープをつくるのは疑問**。都市部であれば意味があるが、**ここでは、子ども達が安全に遊び、自然にふれられる場**があったらいいなという想いから参加している。  
 ・将来目標としては、**できる範囲で現状維持**。子どもの代まで残したい。

**(2) 利活用について**  
 ・これまでの活用状況は、**観察会を1・2回、ボランティアのお祭り**など、取り組みとしては、**現状維持**。

**(3) 今までにめだかの里で発見した生き物**  
 ・動物は、**自然移入のジャンボタニシ(見つければ駆除)**とカワニナくらい。自然移入は、上流ではなく下流から。**人為移入は、メダカ(居るはず)とドジョウ(居るはず)とシジミ(居なくなった)**  
 ・植物は、苗木屋さんから**無償で提供された樹木や苗**を植えたため、**地域樹種等の配慮はしていない**(在来種でないことを理解の上)。**その他は自然に生えた**。  
 ・ヤナギは植えていない。(「めだかの里」の看板を設置していた支柱は、ヤナギの生木を用いた。芽吹く可能性も想定していた。)

2006.05.14 日本ピオトープ管理士会徳島支部 5

## 交流会での意見交換-3/3

### 3. 抱える課題

**(1) 管理運営に関すること**  
 ・**子どもたちを巻き込んだ環境教育的なもの**ができればと思うが、**手間がかけれない**。子どもの教育が課題。**学校に声をかけても関心を示さない**。  
 ・自分も自然の中で遊びたいので、**こういう場所を残したい**。  
 ・かつてのメンバーは、自分の子どもが成長し活動から離れたが、**次世代が入ってこない**。

**(2) 阿波市のまちづくりとの連携**  
 ・阿波市の**まちづくりの考えとも連携**していかないといけない。**阿波市という町をどうしていくのか**。  
 ・自然という観点から、**蛙は土羽が良いのは分かっているが、どんどんコンクリートになる**。個人の考えで整備されるから、**踏み込んで言えない**。隣の香川県は土羽で改良されている。コンクリートと土羽を上手(組み合わせさせた工法とか、何か工夫が必要)かもしれない。

### 4. 感想及び意見

自然が豊かな阿波町にピオトープは不要 > 気づかないまま消えている**身近な自然の価値を知る機会や場が必要**となっている。/ 草刈は年4回 > たえば、**半分は年5回残りは年2回**にして、生き物の生活史を考えると**時期にも配慮**する。/ 学校が参加してくれない > 学校の事情も理解して過大に期待せず、**一般家庭に呼びかけ親子での参加**を募る。

2006.05.14 日本ピオトープ管理士会徳島支部 6

# めだかの里の生き物調べ

交流イベント めだかの里の生き物調べ 所要時間:約60分

目標(モデル活動とし、完結を目指すものではない)

・めだかの里の**価値を再発見**し、今後の**活用プログラム**や**維持管理**に活かす。

方法(簡易な方法とし、専門的な調査を目指すものではない)

・4~8組の**チームで分担して調査**し、それぞれの**特性の相関関係**を探る。

準備するもの(手持ちのものがあればご持参ください)

・図鑑、筆記用具、ルーペ、トレー、網(魚/虫)、移植こて、バックテスト、水温計、寒暖計等、**ある物(人材)も工夫**する。

2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

7

# 生き物調べ風景



原水の水質調査

水辺の生き物採集

樹木調査



採集した土壌動物



採集した水棲動物



採集した植物

2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

8

## 1. 導入

(1)ビオトープの種類を当てよう

質問:「めだかの里」と「めだかの里に接している土地」を含めて、ビオトープ(動物の暮らす場所や植物が生える場所)の**タイプ(種類)はいくつ**あるでしょうか?

答え:(4~15)種類 その区別がわかる人は、下の( )内に記入。  
(林、草地、裸地、小川、池、チップ敷、用排水路、道端、田、畑...石垣など)  
**林、草地、裸地、流れ、池、杉皮敷き、用排水路、道...8種(定額は様々)**

(2)発見できる生き物の種類を当てよう

質問:「めだかの里」に住んだり、訪れたりしている生き物(動物や植物)は、生き物調査で**何種類**確認できるでしょうか?

答え:植物:(50~5000)種 / 動物:(20~500)種 / 合計:(80~5500)種  
**調査結果は、植物:70種 動物:31種 合計:101種 調査時間5~20分程**

2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

9

## 2. 展開(調査結果)

植物

**木本類** 常緑高木:10種/落葉高木:18種/常緑中低木:5種/落葉中低木:7種/計:40種

**草本類** セリ、ナズナ、ゴギョウ(ハハコグサ)、ハコペ、ホトケノザ(タビラコ)?等、**30種以上**

**その他** 藻やコケ類は未調査

動物

**水生動物** カワニナ、モノアラガイ、ヌマエビ、ザリガニ、ミズムシ、ヤゴ等、**11種以上**

**陸生動物** キタテハ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ナミテントウ、バッタ類等、**10種以上**

**土壌動物** ダンゴムシ、ジムカデ、甲虫類等、**10種以上**

水質と土質

**水質** 流れ:pH 7・濁り無し 池:pH 9・濁り有り / 酸素共に充分 / 流れと池の**2種**

**土質** 法尻(シルト)、流れ(礫)、池(泥土)、広場(砂質土)、林(腐植土)の**5種**

2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

10

## 3. 発展 4. まとめ

3. 発展 - 様々な関係

**生き物同士:**動物同士 / 植物同士 / 動物と植物 / **喰う喰われる...**など。

**場所(空間):**環境特性の違いと生息・生育する生物の種類 / **日照や湿度の違い**など。

**時間:**地歴 / 経年 / 世代 / 季節 / 活動形態 / **繁殖・成長・冬眠等の生活史**など。

**人間:**雑草と野草の違い / **春の七草** / 日用品や農具や建材の材料など。

4. まとめ - 省略(時間の都合上、展開の中に一部織り交せて対応。)

・多様性と持続性、**つながり**など、生物多様性の話。

・生き物の生活史や場所に配慮した管理方法が**生き物と人間の共存・共生**につながる。

・記録を残し、検証・改善することも大切。(整備時及びその後も調査記録は無いとのこと、今日を契機にリセットして、次回のお楽しみ。)

・ハブニング:駆けて行く ちゃんが草に埋もれた流れに気づかず大転倒。すぐには立ち上がらない?...! 怪我なし、痛がりもせず、ただ驚いた様子。草がクッション? 彼女は、**小さな危険を経験したことで、大きな危険を回避する能力を体得**したことでしょう。

2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

11

## 5. ふりかえり

・一度にいろいろな調査をすることで、**それぞれの関係**がよくわかる。

・短時間だったけど、みんなが**子どもの頃に帰ったように楽しめた**ので良かった。

・**見た目では外来種と思っていた**のが春の七草の一つだったので驚いた。

・いろいろとしたいことはあるが、**手間や時間が取れないことが課題**。

・**いろいろな考え方や見方**があることを知ることができて良かった。

・日ごろ考えない、関心が無いことを体験して、**違う世界が広がって**楽しかった。

・子どもが来ていないことが残念、**網がサボードして子ども**に来てほしい。

・木の種類が多いのに驚いた。**最初に植えていない木**もあった。子どもに来てほしかった。

・**たくさん植物や生き物**がいて楽しかった。これからも参加したい。

・中間世代である**若者が参加すれば活性化**すると思っているので、これからも参加したい。

・自然が相手の**地道で根気**のことを地元の方がやっていることはすばらしい。

・めだかの里で知られているが、今日は発見できなかった。**メダカが住みやすい環境に...**

・**今までは「メダカ、メダカ、」とばかり言っていたが**、こういう機会があり勉強させられた。

・ハ工(やアブの仲間)だけで5種類も居て驚いた。**子どもがとてもしそう**なので良かった。

・**サクランボがおいしかった**。また来たい。

2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

12

## 草刈風景



2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

13

## 付録 1 アンケート結果 1/3

### 共通事項

#### 1. 開催内容はどうでしたか？

全体(回答者:13名)

・良い(8人)・やや良い(5人)・普通(0人)・やや悪い(0人)・悪い(0人)

**管理士会と一般参加に満足度が低い**傾向が見られたが、おおむね良好な評価。

#### 2. どの内容に一番興味がありましたか？

全体(回答者:13名;複数回答有り)

・意見交換会(6人)・生きもの調べ(8人)・管理作業(1人)・どれもいい(0人)

**一般参加は**、意見交換会2名、管理作業1名、生き物調べ1名と、分散が特徴。

#### 3. 開催日と時間はどうでしたか？

##### (1)開催日

全体(回答者:13名)

・日曜日(9人)・別の曜日が良い(土曜日)(2人)・いつでも良い(2人)・わからない(0人)

**管理士会の2名が土曜日**という意見があったのが特徴。

##### (2)開催時間

全体(回答者:9名)

・長い(0人)・ちょうど良い(6人)・短い(3人) / 午前(3人)・午後(2人)

**管理士会は「ちょうど良い」と「短い」が同数**であったのが特徴。

2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

14

## 付録 1 アンケート結果 2/3

### 自由意見

#### 1. 今後、交流会でしてほしいこと、やってみたいことはありますか？

**夢とロマンのまちづくり委員会**：小学生を交えてやれたらいいなあ。今日ぐらいの内容で良い。**日本ビオトープ管理士会徳島支部**：他のビオトープで同じ内容をする。本格的な調査。研修を兼ねた生き物調べ、今日よりもっと踏み込んだもの。学校の教育との連携した行事。今度は干潟とか、別の場所を見たい。

**一般参加**：ビオトープ作り、実作業、管理。危なくない道路を歩きながら、缶ごみ拾いしながら、道脇の水や植物や鳥の名前を調べる。

#### 2. このような交流会が可能な場所、団体をご存知でしたら教えてください。

大塚板野工場内のビオトープや小学校のどっこが。学校ビオトープがある学校で地域住民やPTAを交えて。吉野川岩津地区。県職エコシステム研究会。

#### 3. 何かご意見や感想があれば自由にお書きください。

**夢とロマンのまちづくり委員会**：新しい刺激がありました。**日本ビオトープ管理士会徳島支部**：管理を交えて運営世話方法話し合う。実践の意味で(内容が良いも悪くも)良い経験になったと思います。これを活かして、実効性ある企画と実践につなげたい。

メダカが見つからなかったのが残念。公園内に園芸用の樹木等が生えており、疑問に思ったが、実なるものもあり、子どもには親しみやすいだろうと思った。メダカが生息できるよう、今後、小川を整えてほしいと思った。子供を連れての参加でも楽しかったです。**一般参加**：種類も大事だが、身近なお話が聞きたい。今日はありがとうございました。

## 付録 1 アンケート結果 3/3

### 考察

#### 1. 夢とロマンのまちづくり委員会

・2名の回答に止まったが、他の2者に比べると**満足度が高い**傾向が見られた。

#### 2. 日本ビオトープ管理士会徳島支部

・満足と不十分に意見が分かれ、**より深い内容を求める**傾向が見られた。

#### 3. 一般参加

・4名の回答に止まったが、他者に比べると**興味が分散する**傾向が見られた。

#### 4. 総合評価

・個々を見ると改善点は多々あるが、**今回の目的(ねらい)の視点から見ると、概ね満足な結果**であったと評価できる。

・活動の目的に適合した活動プログラム実施と参加対象者の設定(選択)が課題の一つ。

・最大の課題は、様々な参加者に対する**情報伝達の工夫**と共に、**組織の個性を活かし**

**つつ多様なニーズに対応する「企画力と実践力」**の修得があげられる。

2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

16

## 付録 2 調査結果

#### 1. 水本質(別紙:レポート参照)

スダジイ/ヤマモモ/カス/キ/ホトトギス/ヒメズリハ/クロガネモチ/タブ/キ/ウバハギ/シ/アラカシ/シラカシ/クワ/ナンキンハゼ/郷地サクラノボ/クリ/クヌギ/ケヤキ/エノキ/ヤシヤブシ/センダングサ/ムク/イロハモジ/コナ/イチョウ/アキニレ/ヒロハヤナギ/アカヤナギ/シダレヤナギ/ソメイヨシノ/グミ/ナワシロギモ/ヒラドツツジ/ネズミモチ/ヒサカキ/ハナズオウ/タニウツギ/ユキヤナギ/ヤマブキ/ハギ/トサシモツケ/レンギョウ。

2. 草本類(意見交換会時の記憶の範囲のため、同定については再度現地確認が必要)  
ガマ/ゼリ/ミソソバ/カワヂシャ/ギンギン/キツネノボタン/タガラシ/オニノゲシ/カラスノエンドウ/スズメノエンドウ/ニワゼキショウ/オニタビラコ/タビラコ(オニタビラコ)? /カタバミ/ハハコグサ/ハコベ/ヤエムグラ/オオイヌフグリ/ジシバリ/ヤクシソウ/タンポポ/カモジグサ/ヨモギ/エノコログサ/アレチノギク/ヒメカシヨモギ/セイタカアワダテソウ/コムツブメクサなど多量。(近年に侵入したと思われる外来種もある)

#### 3. 水生動物

カワニナ/ヒメノアラガイ/ザリガニ/ヌマエビ/マツモシ/ヤコ(イトトンボ類)/ミズスマシ/アメンボ/ミズムシ/スクミリンゴガイ(舟)ノケモ類。

#### 4. 陸生動物(草むらに虫取り網を10振り5分程度と目録)

ヒシバツク/オミテントウ/クサガガロウ/ハエ類やアブ類5種程度/クモ類2種/アシナガバチ/ハムシ類/ヤマトシジミ/ベニシジミ/キタテハ/クロアゲハ/アゲハ/モンシロチョウ/ガの仲間など。

#### 5. 土壌動物(移植こて2杯分)

ダンゴムシ/シジミガタ/甲殻類/その他合計10種程度。

#### 6. 水質(別紙:レポート参照)

流れ: pH 7. 濁り無し/ 濁: pH 6. 濁り有り 流れと池共に濁存濃度は十分。

2006.05.14

日本ビオトープ管理士会徳島支部

17

## めだかの里よ永遠あれ

2006.05.14



1999.00.00

2001.09.15

2006.05.14

調査協力 (株)イーアンドイー・リサーチ(水質調査)

企画協力 夢とロマンのまちづくり委員会

企画・制作 日本ビオトープ管理士会徳島支部